

主な内容

- 平成29年6月定例会…………… P2～3
- 3議員が一般質問…………… P5～7
- 総務・産業建設常任委員会行政視察 …… P8・9



内容については12ページをご覧ください。

6月定例会 [会期] 6月6日～9日まで

天栄村農業委員会委員9名の選任に同意 条例改正など8議案を採択

本定例会では、条例が改正となった農業委員の選任についての同意や条例改正、平成29年度一般会計補正予算など8議案を同意・可決し、平成28年度の明許繰越・事故繰越の報告を承認しました。

また、1件の陳情を審議・採択とし、議員から1件の発議案が提出・採択されました。

一般質問では、3名の議員が、指定管理者制度や天栄米栽培研究会について問いました。



農業委員による現地調査(昨年)

Pickup!! [議案第4号] 天栄村羽鳥湖畔オートキャンプ場条例の一部改正

キャンプ場の利用料が 変動可能に **可決**

羽鳥湖畔オートキャンプ場について、繁忙期等における料金を指定管理者である株式会社天栄村振興公社が規定の範囲内で設定できるよう条例の改正を行いました。それと併せて、現在使用されていない手漕ぎボートの貸付に関する条文を削除するものです。

Q [服部議員]
貸ボートはどこに収納しており、どういった状態なのか。

A [産業課長]
現在は旧羽鳥小学校へ保管しており、平成19年に購入してから約9年が経過。状態も良好ではなく、再開しても利用者が見込めないため、今年度中に処分の方法について検討を進める。



家族連れが訪れるオートキャンプ場

Pickup!! [議案第5号] 財産の取得に関し議決を求めることについて

小型動力ポンプ付積載車1台を購入 2分団第3班消防屯所(西郷地区)へ **可決**

村消防団へ貸与する「小型動力ポンプ付き積載車」の購入などは、財産の取得となるため、議会の議決が必要になります。本定例会において議案第5号が可決となり、積載車1台の購入が決まりました。納入期限は今年12月25日で、本年中には2分団第3班消防屯所へ納入されます。



6月に行われた春季連合検閲式

平成29年度一般会計・国民健康保険 特別会計補正予算が可決

平成29年度一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ1億2046万円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ49億8096万円で可決となりました。

また、平成29年度天栄村国民健康保険特別会計は、歳入歳出それぞれ3834万円を減額し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ8億382万円で可決となりました。

Pickup!! 【議案第7号】平成29年度天栄村一般会計補正予算

可決

債務負担行為を補正

湯本デイサービスセンター管理業務委託820万円

今年度新設される湯本デイサービスセンターの指定管理者の指定期間が平成29～31年度となっているため、平成30～31年度分について債務負担行為の補正を行うものです。



「債務負担行為」ってなに??

1つの事業や事務を行う際に、当該事業が単年度では終わらないことが確定しており、後年度においても「費用負担=支出」をしなければならない場合、議会の議決を得て、その期間と費用負担の限度額を確定するものです。地方自治法第214条に規定されています。

農業経営体育成支援事業補助金356万円計上

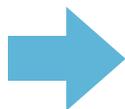
Q 【北畠議員】
この補助金とはどういった内容のものなのか。

A 【産業課長】
認定農業者の方が購入する機械に対する助成。事業費の総額712.8万円のうち、県の補助30%、村の補助20%となるため、50%分が今回の補正額となっている。

議員発議案を議決、意見書提出へ

陳情書1件を受け付け、委員会での審査の結果を踏まえ、本定例会において採択となりました。

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情



東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、引き続き、平成30年度以降も全額国費で支援する「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援に必要な予算確保は不可欠であると判断することから、国への意見書の提出が必要であると考えます。

【意見書の送付先】財務大臣・総務大臣・復興大臣・文部科学大臣

平成29年第2回臨時会の議案審議結果

[会期] 4月19日

平成29年4月19日に開会された第2回臨時会において、3件の議案が審議され、原案どおり承認・可決となりました。議案の内容は下記のとおりです。

専決処分

承認

地方税法の一部を改正

法改正に伴い、天栄村税条例の条文構成や文言の一部を改正するものです。平成29年4月1日から施行するため、同年3月31日に専決処分しています。

後期高齢者医療特別会計 54万円を補正

後期高齢者の保険料は村が徴収し、年度中に全額を広域連合へ納付しています。平成28年度末時点で高額所得者の所得修正等により、納付額が予算を上回ることとなったため増額補正を行ったものです。



「専決処分」ってなに??

本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、特定の場合に限り、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、事前に決定することができます。処分後には、議会で報告し、承認を得る必要がありますが、承認を得られなくても決定は有効とされます。



天の川体操で笑顔あふれるいきいきサロン

補正予算

可決

平成29年度天栄村一般会計補正予算 (歳入歳出それぞれ650万円を追加)

■主な内容

国道118号鳳坂トンネルの掘削によって発生する残土置場を中郷地区に賃借。それによって発生する賃借料や立地補償料及び農業補償料を予算化したものです。



Q [北畠議員] 残土置場の面積と距離はどのくらいを見込んでいるのか。

A [建設課長] 残土置場の予定面積は3万4,000平米、距離としては約6km程度となっている。



1 振興公社民営化 委託施設今後の 事業計画は

議員

「季の里天栄」拡充計画の進捗状況は。

村長

測量が完了し、現在、建物・駐車場の配置や規模など基本的な全体計画をまとめている。整い次第議会に説明し、その後「検討委員会」で審議し最終的な決定となる。

議員

売り場が狭い。面積は広くするのか。

村長

売り場、食堂も含め広げたいと考えている。

議員

検討委員会の構成は。

産業課長

生産者、商業、観光、県関係などおおよそ15名程度を考えている。

議員

「スキーリゾート天栄」の庄雪車は。

村長

旧庄雪車を業者に点検させた結果、修理には1千万円を超える見込みで経年劣化も進んでいることから、新たな庄雪車の導入を6月定例会に補正予算計上した。

議員

スキー場の事業計画は出ているのか。

産業課長

5年後の目標として、入場者数で1万3千人、収入で2千2百万円と設定し、指定管理料も可能な限り削減する計画。



村内スキー大会開会式(スキーリゾート天栄)

議員

平成31年に開催の「オートキャンプ世界大会」ではどのような事業を展開するのか。

村長

9月28日から9日間、羽鳥湖高

原地域で開催の予定。事業内容はまだ決定していないが、村の観光活性化につながるよう実行委員会などと協議していく予定。

議員

羽鳥湖畔のキャンプ場は、シャワーやトイレなど不備が目立つ。人を更と呼ぶために大きな改修が必要ではないのか。

産業課長

今年度当初予算で340万を計上し風呂場、トイレの改修を行う計画。

2 子供たちの体格・学力・いじめ・不登校の現状は

議員

村内児童・生徒の体格レベルは。

教育長

昨年度の5年生と中学2年では身長・体重ともにほぼ全国や県

平均より上回っている。(5年男子体重は県よりやや低い)

議員

いじめや不登校の実態は。

教育長

いじめの認知が疑わしい事案もカウントされる事となり、いじめと疑われる事案は発生しているのが現状。細やかな対応と早期発見で対処している。

不登校では、現在小学校1名、中学校1名が不登校状態にある。復帰に向けて、学校を中心に保護者、各組織など連携を密にして努力していく。

議員

村児童・生徒の学力レベルは。

教育長

4月の「全国学力テスト」の結果は現在集計中。昨年の「県学力テスト」では、小学校では国語が平均並み、算数4・6ポイント、理科で5・5上回り、中学校では国語・数学が平均並みで英語では5・3ポイント上回った成績だった。4月の結果も期待している。



1 天栄米栽培 研究会の 活動内容は

議員

今年3月末まで会員の募集をしたが、申し込みは何名あったのか、発足から現在までの会員数の増減はどうなっているか、また発足から10年間における研究事業等の活動内容について伺いたい。

村長

今年度については3名の申し込みがあり、発足時は33名、震災時は21名に減少し、現在30名となる。毎年1回程度の募集を行い、漢方資材と有機肥料から作られた土壌改良材を用いた「漢方環境農法」や、農薬、除草剤等を、特別栽培の基準以上に削減した栽培方法などの調査研究及び実践し、それらの情報を会員で共有できるように毎月1回定例会を開催している。

議員

研究成果を広く村民に公表してはどうか。

産業課長

有志が中心となって発足した会なので、多くの方に研究会に参加頂き、その中で情報共有を図り、より良い米作りのための



村の田植え風景

底上げを図っていききたい。

2 天栄村ブランド化 推進協議会と 天栄米栽培研究会は 一本化できるか

議員

この2つの団体を一本化し、協議会の予算を増やし、その

中から研究会に対し助成をし、村のために活動していけないか。

村長

天栄村ブランド化推進協議会は、村の農産物全体のブランド化を推進するため、村や農協、農業委員会、商工会などの団体で構成する組織。

天栄米栽培研究会は、良食味米の生産に取り組みたい方々が組織している生産者の団体であり、構成員や活動内容が異なっ

ており、組織を統合し、一体的な活動を行うことは困難であると認識しているが、それぞれの団体ごとに活動を続けていただきながら、ブランド化を推進していきたいと考えている。

議員

GAP(農業生産工程管理)認証の取得が急務だと考えるが。

村長

村も支援し、早急なGAP認証の取得を目指していく。



天栄村三大ブランド

1 村の振興公社との 関わりについて

村長

一般財団法人の際は理事として、株式会社移行後は取締役としていずれも私が就任し、公社業務の意志決定や業務執行に当たっており、村の関わりが大きく変わったということはない。

株式会社は、豊富な経験と経営感覚に優れた民間の方が代表取締役として常駐され、業務全体を見据えた適切な指示の下、会社運営がなされており、組織の活性化や業績の進展が図れるものと、期待している。

解散スケジュールについては、一般財団法人を3月31日をもって解散し、4月1日に清算法人に移行、債務の確定や弁済等を進めているところであり、早ければ9月中にも終了する見込み。終了後、決算承認や、県への届け出等法令に基づく手続きを行い、その後、村出資の一億円を含め、残余財産の全額を村に寄付することとなる。

議員

一億円の出資金の処分についてはどの様に考えているのか。

総務課長

一般会計に繰り入ることを考えている。

議員

村も株主となるが、法人以外の個人、農家や一般の方が株主になることは考えているのか。

産業課長

村と商工会、JAの三者のみと考えている。個人出資の募集は考えていない。

議員

本来道の駅は農産物の直売所としての目的で建設し、農家の収入アップや生産組織の経営を良くするためのものだったが、株式会社へ移行した場合、どう村が関わって農産物の納入などはどうするのか。

村長

出荷の条件として、農家の方へビニールハウスの補助金を出すなどの取り組みをしている。

さらに道の駅へ意欲的に出荷していただけるよう、支払いを月2回にするよう努め、より良いものが出るシステム作りに取り組んでいく。

議員

今までどおり村内の業者、農産物・酒やお菓子などが、積極的に販売できるようにして頂きたい。

村長

村の道の駅、直売施設なので地元の物を優先し、リニューアルするなかで売場面積を拡張するなど販売促進に努めていく。

議員

村振興公社が株式会社となり、村も株主となったが、それに伴い村が経営等に対しての関わり方についてどう変わるのか、従前のやり方とどこが違うのか。現在、一般財団法人の解散手続きがとられているが、今後正式解散までのスケジュールはどのようにになっているのか。

また、当時出資した一億円はどのように清算するのか伺いたい。



1番 北畠 正 議員

村政を問う

一般質問



道の駅祭とふたまたぎつね

総務
常任委員会

[石川県津幡町] 認定こども園による子育て支援

津幡町における子育て支援の現状

認定こども園とは、教育と保育を一体的に行う施設であり、地域の実情や保護者のニーズに応じての選択が可能となり、幼児連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型など多様なタイプが認められています。

津幡町には、4つの施設はいずれも幼児連携型であり、幼稚園教諭と保育士の双方の資格を有する保育教諭を配置しています。

施設のメリットとしては、保育所とは異なり親の就業の有無や



住吉こども園を視察

保育の必要性の無にかかわらず、また親の就業時間、離職、出産・育児休業の変化があっても、通いなれた園を離れることなく安心して保育教育を受けることができます。

津幡町では4つの認定こども園と8つの保育所、2つの幼稚園があります。

このうち今回視察した住吉こども園は平成22年度から、従来の町立保育所から社会福祉法人に移行しました。

これは園舎の老朽化に伴う改修費の国庫補助金が制度上無くなった現在、町単独での施設整備は困難であることから、民営化により財源の確保を図ったものです。

この民営化によって、現在8つある町立保育園と4つの私立認定こども園との関係にどのような変化が生じたかという点、町



津幡町役場にて研修

立保育園の定員総数が959人に対し在籍数が708人と73%の在所率に対し、認定こども園の定員総数631人に対し、90%にあたる571人が在籍して保護者からの人気の高さが見えます。また年度当初の園児募集でも認定こども園への入所希望者が多く、年度途中の入所希望者は公立保育所での受け入れとなっています。

産業建設 常任委員会

[石川県輪島市] 街並み環境整備事業と景観づくり

輪島市の伝統産業である輪島塗は、室町時代より北前船とともに栄え、鳳至上町は、これら職住一体の塗師の家のたぐいまじり、今でも残っている唯一の地区であり、塗師の家にはふさわしい建築様式で街並みが形成されてきた地区です。

鳳^{ふげしかみまち}至上町における街並み環境整備事業



鳳至上町の街並み環境整備を視察

この街並みを整備するための道路拡幅(16m)にあたり、建物解体や移動方式では、沿道に空き地ができるのでないかとの懸念があったため、セットバック方式として、助成金制度を導入し、格子上戸修景(80%)、建物外観修景(70%以内)、外構修景(70%以内)

など、それぞれの工種ごとに200万円を限度額として助成しています。

その道路拡幅部分(16m)は、石川県が事業主として道路整備を行い、輪島市としては固定資産税の減免を行っており、石を敷くなどして歩道として活用しています。

また、道路の美化を行うとともに使わなくなった蔵を提供していただき地域の交流サロンとして活用するなどの他に、地区住民のための小公園、防災施設、生活環境施設の整備等を行い、良好な居住環境づくりを目指しています。

これら景観整備助成事業は、今回現地視察した鳳至上町のほかにも旧輪島駅を再整備した「ふらっと訪夢事業」に伴う市街地の道路拡幅整備や日本三大朝市と称され全国から買い物が押し寄せる「輪島朝市」の電線類の地中化工事などにも適用されました。この助成事業は平成19年3月25日に発生した能

登半島地震の際には、既に制度化されていたため、観光都市輪島の復興に大きな役割を果たしました。

また、完成の目途が立っていないかったマリントウンプロジェクトによる輪島湾埋立事業が、県の震災復興重点事業に位置づけられ、大規模駐車場や観光交流施設、ボートパークの整備が進められ、約3年間で事業完了が図られました。その結果、震災前約90万であった観光客数が100万人を突破しました。



輪島市役所にて研修



▶ 町村議会広報研修会 / 平成29年5月22日

議会広報常任委員会

住民が読みたいくなる「議会だより」を目指して

郡山市ビッグパレットふくしまにおいて、県町村議会議長会が主催する町村議会広報研修会が行われ、議会広報常任委員4名が参加しました。研修会では「もっと身近に、もっと読まれる議会広報紙づくり」と題し、広報アナリストの吉村潔氏による広報紙作成におけるポイントなどの研修、さらには本村「議会だより」のクリニック(改善点やアドバイス)を受け、読みやすい構成とはどういったものかを学びました。村民の皆様が読みやすく、わかりやすい紙面となるよう編集に取り組んでまいります。



見やすい広報紙の構成を学ぶ

▶ 岩瀬地方議会議員協議会総会 / 平成29年5月24日

総会で事業計画予算決める

天栄村、鏡石町の議会議員で構成される岩瀬地方町村議会議員協議会は、合同での視察研修や講演会を通して、岩瀬管内の振興を考え、情報交換を行っています。

平成29年度総会が5月24日(水)鏡石館を会場に開催され、平成28年度事業報告と収支決算報告並びに平成29年度の事業計画と収支予算を原案どおり承認、可決しました。

引き続き役員改選が行われ、新会長には天栄村議会の廣瀬和吉議長が、新副会長には鏡石町議会の渡辺定己議長が選任されました。



開会の言葉を述べる廣瀬議長

▶ 県町村議会議長会定期総会 / 平成29年6月2日

国道118号並びに294号の改良整備促進を決議

福島県町村議会議長会総会は、6月2日福島市の自治会館で開催されました。

議事では、天栄村関連議題の「国道118号並びに294号の改良整備促進を求める要望」の他、各地方からの提出の21議案が採択されました。

引き続き、新役員の選考が諮られ、県議長会の会長には小野町の村上昭正議長、副会長には会津坂下町の古川庄平議長、新地町の菊池正文議長が、天栄村議会の廣瀬和吉議長は監事に就任しました。



監事へ就任し、挨拶に立つ廣瀬議長(写真中央)

議会・委員会の活動

▶ 会津若松天栄間道路促進期成同盟会総会 / 平成29年7月7日

会津若松天栄間の道路整備の促進について決議

会津若松天栄間道路促進期成同盟会の総会が、本村ブリティッシュヒルズにて開催されました。廣瀬議長、産業建設常任委員5名（揚妻委員長・服部副委員長・熊田委員・円谷委員・後藤委員）が出席し、事業報告や整備促進を求める決議について話し合いました。

本期成同盟会は、会津若松市と天栄村を結ぶ市道及び村道の道路整備について、要望活動を行っています。要望事項には、村道黒沢線における未整備区間の早期整備等の内容が含まれています。



決議案を読み上げる揚妻産建委員長

▶ 関東地方天栄村人会総会 / 平成29年7月9日

関東地方天栄村人会にて意見交換

7月9日東京グリーンパレスにて、平成29年度総会が実施され、議会議員9名が出席しました。

今年で結成から37年を迎える総会では、廣瀬議長が議会を代表して挨拶し、6月に安全祈願祭・起工式が行われた鳳坂峠トンネルや議会の活動状況について報告しました。

また、総会後に開催された懇親会では、桂幸丸さんによる独演会や天栄村出身の星ゆうこさんによる歌謡ショーが行われました。

歓談の時間では、会員の方々のご意見や村に対する思いを伺うなど、貴重な意見交換の場となりました。



鏡開きの様子



祝辞を述べる廣瀬議長



会員の方々による合唱

